

2024 年度 大学院秋季・春季入試（中国言語文化学専攻）

博士課程（後期）

外国語科目 英語

【合否判定の方法】

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性をはじめ、専攻分野における高度な専門性に基づく判断力・分析力、ならびに博士論文作成能力を有しているかを審査する。

- 1 試験日（秋季）2023 年 10 月 14 日
（春季）2024 年 2 月 16 日

- 2 科目 外国語科目・英語（100 点満点）

- 3 出題意図（秋季・春季共通）

（1）は清代の中国に題材を取った小説、（2）は英文による中国語文法の入門書である。文学と文法という異なる二つの分野の英文が共に理解できるかどうかを確かめる。

- 4 模範解答（2023 年 10 月 14 日の試験を例として）

（1）元旦明けの二日は女たちが年始回りをする日だ。彼らは夜明けとともに起き、子供には赤い着物を着せ、虎の頭のついた靴を履かせ、ワン・ルンが去年の暮れに剃ってやった頭には正面に小さな金色の仏像が縫いつけてある赤い帽子をかぶせてからベッドに座らせた。そしてワン・ルンが素早く着替えている間に、彼の妻は長い髪をとかし、彼が買ってやった銀メッキのピンで束ねてから黒い着物に着替えた。それは 24 フィートの上等の生地であつて、夫の着物と対に仕立てたもので、それだけ買うと 2 フィート分まけてくれることになっている。その後、彼は子供を抱き、彼の妻はお菓子の入った籠をさげて、冬枯れの畑の小道を歩いて行った。

（2）中国語文構造における最も顕著な特徴であり、中国語を他の言語と区別する特徴の一つは、主語と直接目的語といった文法関係に加えて、「主題」という概念が必要であることである。中国語文法において「主題」が重要であることから、中国語は「主題卓越言語」と称される。

基本的に、文の主題はその文が言及する対象である。通常それは文頭に置かれ、話し手は

それについて聞き手は何らかの知識を持っていると考えている。例えば：

(1) 张三我已经看过了。張三は私はすでに会ったことがある。

(2) 这棵树叶子很大。この木は葉っぱが大きい。

主題の後は息の切れ目を置くことが可能で、それによって主題と文の他の部分とを隔てる。主題が主語と異なる点は、主語は動作や状態を表す動詞と意味関係を有しているのに対して、主題にはそのような必要はないことである。再度例文(1)と(2)を見てみると、

(1)の主語は「すでに会ったことがある」という行為者である「私」であり、(2)の主語は「大きい」という状態の対象である「葉っぱ」であるが、主題はこれらの述語と直接的な意味関係を持つ必要はない。

※著作権の関係で過去問題の掲載はできない。

以上